

日本動物看護学会

関西地区第3回例会 (京都ミーティング)

日本ペット栄養学会 協賛

◇ テキスト ◇

開催日:2010年2月21日(日)11:00～17:00

会 場:京都大学 百周年時計台記念館 2F 国際ホール I・III
(京都府京都市左京区・吉田キャンパス)

お祝いの言葉

日本動物看護学会会長代行 高橋英司

関西地区 第3回例会開催に際して、お祝いを述べさせていただきます。

日本動物看護学会（以下学会）は1995年12月に設立されて以来、15年目を迎えます。設立時に掲げられた「動物看護に関する研究を中心として、会員相互の情報交換の場を設け、この分野における研究の進展を図ることを目的とする」という理念をもとに幅広い学会活動を行ってきました。

学会は発足以来18回の大会、31回の例会が開催され、研究発表、講演、シンポジウム、セミナーなどを通じて、動物看護学と関連学問領域に携わる学会員がお互いに交流を図り、研究成果や意見を交換するための開かれた場を提供してきました。2002年には動物看護学総論・各論の2冊の教科書を刊行し、将来の統一試験制度へ向けての取組みの一環として2003年に動物看護師認定試験を開始しました。

一方農林水産省の取組みとして、2005年に消費・安全局に小動物獣医療班が設置され、「小動物医療に関する検討会」が6回にわたって開催され、その中で、動物医療補助者制度が課題として取り上げられ、「将来に向けて獣医療補助者の社会的身分を確立するためには、獣医療補助者の各団体並びに獣医師団体等が中心となって、教育と資格認定基準の平準化に向けた取組みに着手すべきである」との最終報告がなされました。それを受けて、2006年に日本獣医師会が動物診療補助専門職検討委員会を発足させ、動物看護職の早急な団体設立と統一資格試験化に向けて討議がなされました。そして、2008年2月には動物看護職全国協会（仮称）設立準備会が発足し、その後その活動は日本動物看護職協会発起人会に引き継がれ、2009年4月20日に一般社団法人日本動物看護職協会が正式設立されました。このことにより、動物看護職の全国組織が設立され、職能団体としての今後の活動に大きな期待が寄せられています。協会の設立準備に関して学会認定看護師の多くの会員が精力的に活動され、設立に多大の貢献を果たしております。

2008年に開催された第1回関西例会は西日本在住の会員を中心として盛会に行われ、今回第3回を迎えられます。今後もさらなる研究会活動が永続的発展されることを期待しております。そのためには例会に参加された会員・関係者の皆様の一層のご支援を賜りたいと存じます。

最後になりましたがご講演をお引き受けいただいた帝京科学大学・学会理事長の桜井富士朗先生、鹿児島大学名誉教授の浜名克己先生、ランチョンセミナーを企画していただいた須永修先生、発表者の方々、例会運営に尽力された実行委員の会員の皆様に厚く感謝申し上げます。

〈目次〉

大会長挨拶	1
開催概要	3
大会運営についてお願い	4
会場案内図	5
プログラム	6
出展業者一覧	7
要旨	
テキストについてのお願い	8
認定看護師の皆様へ(レポート募集について)	
特別講演 要旨	9
講義 要旨・資料	11
ランチョンセミナー 要旨・資料	31
一般演題(口頭発表) 要旨	52
日本動物看護学会 関西地区「第3回例会」実行組織	62

開催概要

日本動物看護学会 関西地区 第3回例会

(京都ミーティング)

開催日

2010年2月21日(日)

会場

京都大学 百周年時計台記念館 2F 国際ホール I・III
(京都府京都市左京区・吉田キャンパス)

主催

日本動物看護学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町 2-23 アクセス御茶ノ水 2F

TEL 03-5298-2850 FAX 03-5298-2851

HP <http://www.jsan.gr.jp>

E-mail info@jsan.gr.jp

協賛

日本ペット栄養学会

賛助

株式会社 インターベット

大会運営についてのお願い

参加者の方へ

1. 参加される方は、必ず受付を済ませ、名札と抄録集をお受け取りください。
2. 講演順序は都合により変更される場合があります。ご了承ください。
3. 京都大学百周年時計台記念館は全館禁煙となっております。喫煙所はございませんので、ご了承ください。
4. ご飲食は国際ホール内（Ⅰ・Ⅲ）では可能ですが、共有の場所（廊下及び通路部分・他会場）では厳禁ですのでご注意ください。
5. ランチョンセミナーにご参加を希望される方は、受付にて参加券をお受け取り下さい（先着 100 名、事前受付者は名札にチケットが入っております）。
6. 雨天時には、濡れた傘は傘立て及び傘袋にお入れください。

口頭発表者の方へ

1. 受付にて、名札をお受け取りください（名札にチケットが入っております）。
2. 発表時間は 8 分間、質疑応答が 2 分間の合計 10 分間となります。持ち時間を厳守してください。
3. 次の発表者は、前の発表者が始まる前までに次演者席にお着き下さい。

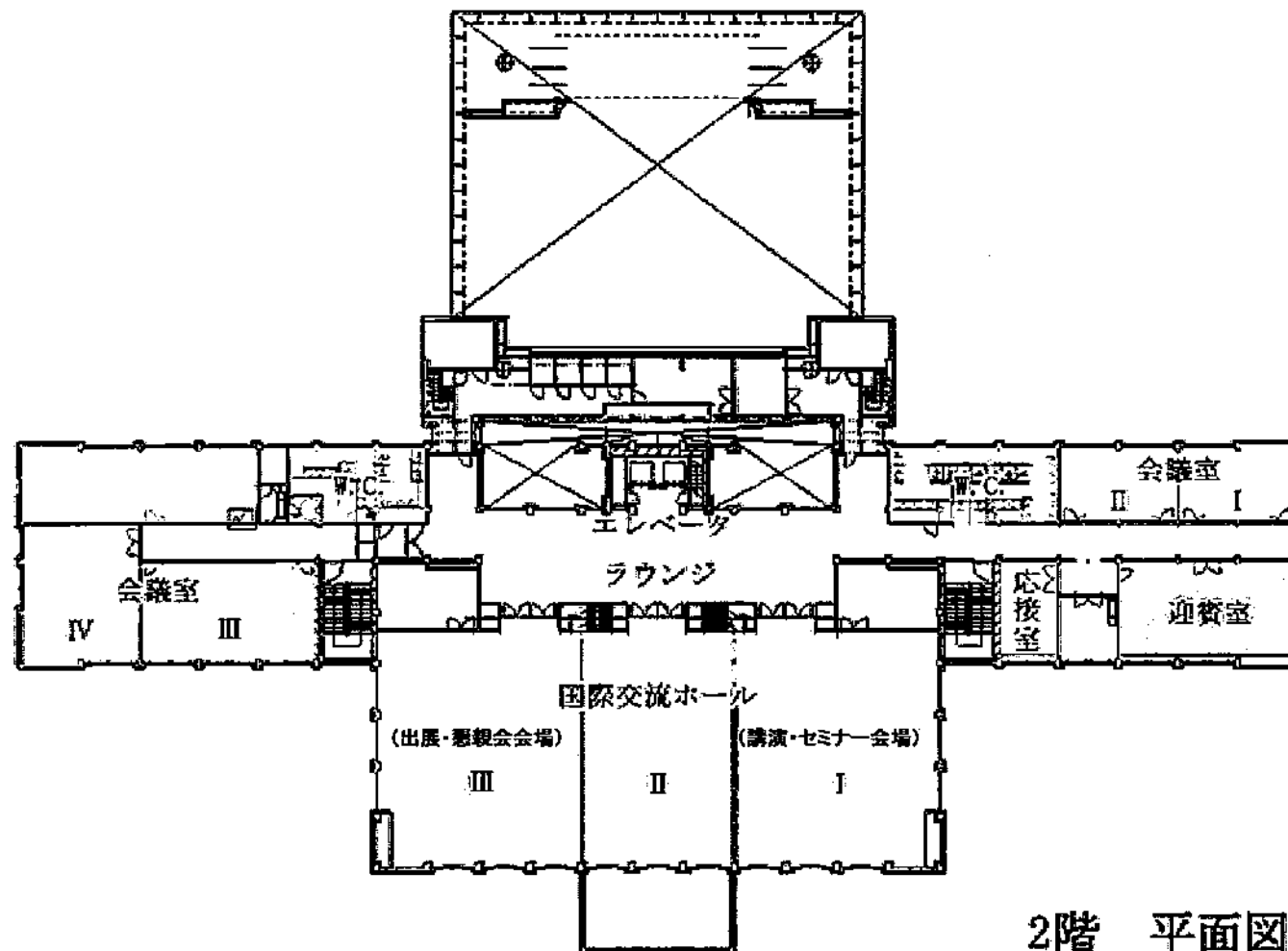
座長の方へ

1. 受付にて、名札をお受け取りください。
2. 口頭発表は、1 題あたり発表 8 分間、質疑応答 2 分間の 10 分間となります。進行にご配慮ください。
3. 次座長の方は、10 分前までに会場にお越し下さい

出展社の方へ

1. 会場は記念館 2F 国際ホールⅢになります。
2. 大学の駐車場のご使用は事前にお申し込みのあった方のみ使用可になります。
3. 当日は、午前 9 時 30 分より搬入が可能となります。
4. ブース設営時間は午前 10 時 30 分より午後 4 時までです。時間になりましたら速やかに搬出をお願い致します。
5. 名札及びお弁当券は出展ブースの机に前以て置かせていただきます。
6. 出展各社のご紹介の際に、ひと言ご挨拶をお願い致します(12:00 を予定)。

百周年時計台記念館



(大学ホームページより)

日本動物看護学会 関西地区 第3回例会

関西地区例会も第3回をむかえ、今回は初めて京都で開催することになりました。
動物看護師自身の知識・経験の共有化や個々のレベルアップのために、大いに学びあい、
交流しましょう！

◆ プログラム ◆

総合司会：山内かおり(OFFICE AniPro 代表・動物看護師)・副司会：尾花礼子(王寺動物病院・動物看護師)

.....
(国際ホール I)

11:00 開会の挨拶 桜井理事長挨拶

11:10～12:00

【講 義】

英国の動物看護モデル[Ability Model 2007]の紹介

＜講師＞ 桜井富士朗(帝京科学大学アニマルサイエンス学科 教授・本会理事長)

12:00～12:20

出店企業挨拶： アニコム損害保険(株)、(株)インターズー、(株)インターペット、(株)モノリス (五十音順)

12:30～13:20

【ランチョンセミナー】 お弁当の提供は受付先着100名までです。(賛助：(株)インターペット)

ワクチネーションの基本と応用

＜講師＞ 須永 修((株)インターペット・マーケティングマネージャー、獣医師)

13:35～14:25

【特別講演】

【座長：桜井富士朗】

犬と牛の比較繁殖生理

＜講師＞ 浜名克己(鹿児島大学名誉教授)

14:40～16:10

【一般演題】

【座長：佐藤順子(みなせ動物病院・動物看護師)】

① 野生ニホンザルの寄生虫検査―牧野麻希子(天神川動物病院)

② 託児ルーム設置の経緯―高橋佳代子(関西動物看護教育研究会)

【座長：阿部令子(アニマルサポートオフィスミーチョ代表・動物看護師)】

③ 犬の体脂肪率と血液生化学検査の関係―松井桃子(Ron 動物病院)

④ 終末期看護における倫理的ジレンマ舌癌患者の長期入院を通して―山崎州子(王寺動物病院)

【座長：尾花礼子(王寺動物部病院・動物看護師)】【⑥について解説：桜井富士朗(本会理事長)】

⑤ 当院における院内死についての検討―西 景子(北摂夜間救急動物病院)

⑥ 入院看護記録の使用経験に関する考察 Orpet&Jeffery 式看護記録を用いて

―加藤麻友香(大阪府立大学獣医臨床センター) (6 題)

16:10 閉会の挨拶 桜井理事長挨拶

(国際ホールⅢ)

10:30～16:00 出展ブース(アニコム損害保険(株)、(株)インターズー、(株)インターベツト、(株)モノリス (五十音順))

17:00～19:00 懇親会 (司会進行/ 阿部令子・ 崎山法子)

<会費制:1500 円>

◆ 代表幹事:崎山法子(本会理事・動物看護師) 幹事:阿部令子(本会理事)・井田竜馬(本会理事)◆

出展社一覧

(五十音順)

アニコム損害保険株式会社

株式会社インターズー

株式会社インターベツト

株式会社モノリス

来場者の皆さまへ“お願い”

このテキストに掲載されている内容を無断で複写・複製・転載はしないで下さい。

このテキスト内容は、聴講者の学習の便宜のために講演者・発表者の皆さまから許可をいただいた上で掲載しています（個人や院内での学習・研究目的に限り使用可能です）。

「引用」と「参考(参照)」の違い

「引用」とは、「（自論を説明・証明するために）他の文章をそのままの形で一部紹介すること」です。

「引用」を行う際は、次のルールを守ることが必要です。－引用部分は最小限度にとどめる／引用部分は「」でくるなどして自分の文章とはっきり区別する／文章は勝手に改変せずにそのまま載せる／引用時の出典（書名、引用ページ、編著者名、発行元、発行年など）は、原則には引用箇所の最後に記す（論文最後の参考文献には記さない）－。

本会認定動物看護師の皆様へ！！

本例会の参加は、3 ポイントです。

学会レポート（A4・1 枚以上）提出された方は 1 ポイント加算され 4 ポイント になります。

（提出期限 3 月 8 日（月））

送付方法：郵送かメールにて学会事務局までお送り下さい。

日本動物看護学会事務局：10：00～18：00

TEL：03-5298-2850 fax：03-5298-2851

アドレス：info@jsan.gr.jp

特別講演 要旨

犬と牛の比較繁殖生理

鹿児島大学名誉教授 浜名克己

犬と牛はそれぞれ、家畜の中でも非常に特徴的な繁殖形態を持ち、相互に大きく異なっている。その主な相違点は下表の通りである。

犬と牛の体格は大きく異なるが、性成熟月齢と寿命はそう変わらない。近年、犬はコンパニオンアニマルとしての地位がますます高まり、それにつれて昔は春・秋とされていた繁殖季節がなくなり、1年のいつでも繁殖できるようになり、この点は牛も同様である。ただし、決定的に異なるのは、犬はこの繁殖シーズン中にただ1回しか排卵しない単発情動物なので、これを逃すと、また数カ月から1年間、次回の発情を待たねばならない。牛はその点、多発情動物なので、ほぼ21日ごとに自然に発情が回帰する。

また体格の大きな相違とは反対に、犬の方が牛より、発情期間、排卵数、卵子と精子の受精能保有時間、交配所要時間が、それぞれ多いのも興味深い。さらに排卵時の卵子の成熟状態、排卵時期、出血の時期、陰茎の勃起機構、胎盤の形態、妊娠期間、偽妊娠の有無、難産の発生頻度も、かなり異なっている。

これらの相違をよく認識した上で、それぞれの動物の繁殖管理にあたることが望まれる。

犬と牛の繁殖形態の主な相違点

項目	犬	牛
繁殖季節	不定、年に1-2回	周年
発情様式	単発情	多発情
発情周期	数カ月	21日
発情前期	9(0-17)日	短時間
発情期	9(3-21)日	21時間
排卵	一次卵母細胞	第二成熟分裂中期
排卵数	4~8	1
排卵時期	発情開始後48-60時間	発情終了後10-14時間
卵子の受精能保有時間	4-5日	8-10時間
精子の受精能保有時間	5日	1-2日
陰茎の勃起機構	血管筋肉型	弾性線維型
交配所要時間	10分以上	1-2分
胎盤	帯状胎盤	多胎盤
妊娠期間	61日	280日
産子数	2~8、多胎動物	1、単胎動物
偽妊娠	あり、約60日、黄体持続	なし
難産	少ない	多い
出血時期	発情前期の開始時	発情・排卵の終了後

講義要旨・資料

英国の「動物看護モデル」の紹介

帝京科学大学アニマルサイエンス学科 桜井富士朗

2008年8月、アイルランドのダブリンで開催された世界小動物獣医師大会では、2日間に渡り動物看護師セミナーが開催された。その冒頭の基調講演が、英国ブリストル大学(University of Bristol Veterinary Nursing Unit)の動物看護師 Andea K Jeffery 「看護ケア提供の発展—新しい概念」であった。2席目の Hiary A Orpet 「実践看護ケアの提供の発展—その実践例」共々、これらの講演を聴講する僥倖に恵まれて本当によかったと思った。日本動物看護学会が、日本の獣医療と動物看護の世界に発信してきた看護モデル、看護過程、看護計画立案、実施、評価といったコンセプトが見事にナイチンゲールの国の動物看護師によって再現されていることに、驚きと喜びを感じたのである。講演終了後、これからの情報交流などを申し入れ、学会誌などへの紹介を快諾していただいて日本に帰ってきた。

和訳するに当たって、(ヒトの)看護学で用いられている用語との統一は慎重に心がけ、専門家の校閲も受けた。その上で、原文を半分ほどの量に縮めて分かりやすく意識したものである。

さっそく、訳者の勤める帝京科学大学のアニマルサイエンス学科の3年生の、本年度の動物看護実習にテキストとしても使用してみた。ケーススタディーなどを組み込み、更なる検討を加えていこうと思っているところである。

英国の「動物看護モデル」 の紹介

桜井富士朗
帝京科学大学

1

本日の講演にあたり 日本動物看護学会の歩みを振り返る

- 日本動物看護学会
創設時の3大テーマ(1995年)
- 学問としての動物看護学の確立
- 動物看護師の職域の検討
- 育成カリキュラム策定とライセンス認定
その取り組みへの現状は？

2

学問としての動物看護学の確立

- 認定教科書作成(2002年)
- 総論:動物看護概論、動物看護研究法、看護対象動物、動物看護のオリジナリティー追及
- 各論:獣医学(解剖生理学・内科外科疾病学・薬理学・感染病学・公衆衛生学)及び動物心理学・動物行動学、動物栄養学

3

育成カリキュラム策定と ライセンス認定 1(本会)

- 動物看護師資格認定試験実施(2003年)
2010年3月で第9回、現在まで認定者 1898名
- 資格者には通信教育実施
初級(基礎系講座:解剖学・生理学・・・)
中級(臨床系講座:循環器・呼吸器
・消化器・繁殖系・泌尿器疾患・行動分析学)
上級(「動物心理・行動学」・「動物栄養学」
「動物看護学の発展(計画中)」)

4

育成カリキュラム策定と ライセンス認定 2

- ・動物看護系大学連絡協議会
(正会員:日本獣医生命科学大学、倉敷芸術科学大学、帝京科学大学、ヤマザキ学園大学)
現在コアカリキュラム作成検討中
(専門学校のカリキュラム検討は?)
- ・日本獣医師会動物看護職制度在り方
検討委員会の設置(2009年)
(統一試験へ向けて認定5団体も参加)

5

動物看護師の職域の検討

- ・日本動物看護職協会の設立(2009年)
- ・日本獣医師会動物看護職制度在り方
検討委員会の設置(2009年、現在検討中)

不況下でも、動物病院の人材需要有
勤務実態? 待遇? 職場ストレス

6

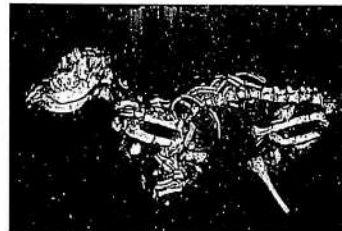
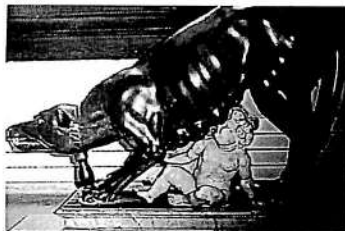
動物看護学の発展

- 「動物看護概論」の構成(教科書総論より)
 - 1 獣医学・動物看護学の歴史
 - 2 西洋医学と動物実験
 - 3 人の看護理論を学ぶ
 - 4 動物福祉の考え方
 - 5 動物看護の現状と課題

7

動物看護の起源

- ・ ローマ神話によるオオカミに育てられたロムルスとレムスの兄弟像
- ・ 埋蔵された形で出土した縄文期の犬の骨格



8

獣医学・動物看護の歴史



～古代の獣医学～

- ・ 古代エジプト
(牛の助産の壁画)
 - ・ 最古の獣医療
(ハムラビ法典)
 - ・ 古代インド
(アショカ王)
- 慈善動物病院
(ジャイナ教徒)⁹

看護の対象動物(人と動物の関わりから)

- ・ 野生動物(無脊椎動物 約99万種)
(脊椎動物 約44千種)
- ・ 家畜(経済動物 約40～60種)
- ・ 実験動物
- ・ 展示動物
- ・ ペット
- ・ コンパニオン・アニマル
- ・ 身近な生きもの、教材

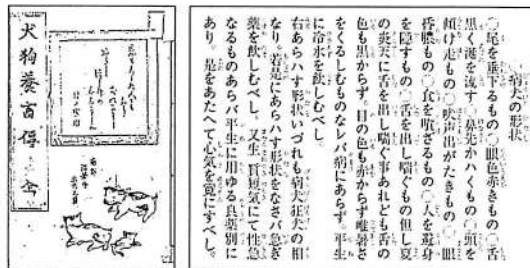
10

獣医学・動物看護の歴史

～近世の獣医学～

「犬狗養畜傳」（江戸時代）

・生類憐れみの令



・近代獣医学教育の開始
(フランス、1761年) ¹¹

西洋医学と動物実験



動物実験と医学の発展

ヒポクラテス
(紀元前460-367年)

病気は4種類の体液
血液、粘液、黄色胆液、黑色胆液の
調和の失調でおこる。

Dunlop and Williams
Veterinary medicine, An illustrated
history, Mosby より ¹²



ステファン・ヘールズによる
血圧測定(1733年)

西洋医学の4大要素

- ・医学・哲学的思想
(speculation)
- ・観察
(observation)
- ・医療技術
(medical arts)
- ・動物実験
(experimentation)

写真: 尾前照雄著「血圧の話」より
(岩波書店)

13

人の看護理論から学ぶ



若き日のナイチンゲールの像(写真提供: ナイチンゲール看護研究所)

・ナイチンゲール看護論 (1820-1910)

・ヘンダーソン看護論 (1897-1996)



1994年版: 日本看護協会出版会刊

ナイチンゲール看護論

看護とは回復過程である。

新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ静かさを適切に保ち、食事を適切に選択し、管理することで患者の生命力の消耗を最小にするように整えること。

15

ナイチンゲールの環境の概念

重点の置かれているおもな領域	例
換 気	新鮮な空気が第一的に重要である。それは、窓をあけることによって得られる。腐敗臭のあるよどんだかび臭い空気はすべて、病気を育む。空気を循環するための排気口が必要である。窓やドアの開いているところからの換気風を防ぐこと。汚れたカーペットや家具は、空気を汚すものである。
暖 か さ	体温の喪失を防ぐことが、患者の回復に重要である。冷気に触れさせないこと。湯タンがや熱いお茶や温かい飲み物が、体温喪失の回復をはかるためによい。
悪臭（におい）	下水道のにおいをふさがなければならない。そして、病気に起因している有機物質の悪臭をとり除くこと。室内便器はにおいのないもので、視界に入らないこと。香をたいたり、防腐剤をふったりせずに、不快な物質を除去すること。
騒 音	間欠的な突然におこる騒動は、継続する騒音よりも、より大きい興奮を引き起こす。よくに患者が就寝したばかりのときには、患者がより平和に眠れれば眠れるほど、患者の就寝能力は高まる。病室のすぐ外のかすかな靴音やささやき声、また、患者の状態について話し合う声などは危険である。
光	新鮮な空気の次に大切なのは、光の質・量である。患者のベッドは、窓から外界や陽の光が見えるように置かれること。

実験動物の環境基準

動物種 環境要因	マウス	ラット	ハムスター 1期	モルモット	ウサギ	サル類	ネコ	イヌ
温度	20～28℃				18～28℃			
湿度	40～60%（30%以下70%以上になってはならない）							
換気 回数	10～16回／時							
気流 速度	13～18cm／秒							
気圧	静圧差で5mmH2O高くする（SPFバリア区域） 静圧差で15mmH2O高くする（アイソレータ）							
菌数	クラス10,000*（動物を飼育していないバリア地区）							
落下 距離	3個以下**（動物を飼育していないバリア地区） 30個以下（動物を飼育していないバリア地区）							
臭気	アンモニア濃度で20ppmを越えない							
照明	130～300ルクス（床より40～85cm）							
騒音	60ホンを越えない							

16

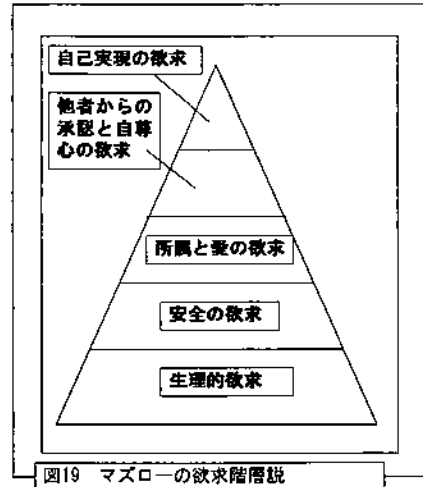
16

* 米軍航空宇宙局の分類によるクラス分け

** 9cm径シャーレ30分開放（血液寒天48時間培養）

ヘンダーソン看護論

- ・ アブラハム マズローの欲求階層説の影響を受けている
- ・ 充足された欲求はもはや行動を動機づけず、より高い欲求を充たすことが行為の目標になる



17

基本的看護ケアの14の構成要素

下記の活動に関して患者を助けたり、助けを得ずに患者が自ら行うことができるような状況を提供したりする

- 1、正常に呼吸する。
- 2、適切な飲食をする。
- 3、身体のお廃物を排泄する。
- 4、身体的位置を動かし、またよい姿勢を保持する。
- 5、睡眠と休息をとる。
- 6、適当な衣類を選び、それを着たり脱いだりする。
- 7、衣服の調節と環境の調整により体温を生理的範囲に維持する。
- 8、身体を清潔に保ち、身だしなみをととのえ、皮膚を保護する。
- 9、環境のさまざまな危険を避け、また他人を傷害しないようにする。
- 10、他者とコミュニケーションをもち、情動、欲求、恐怖、意見などを表現する。
- 11、自分の信仰に従って礼拝する。
- 12、何かをやりとげたいという感じをもたらすような仕事をする。
- 13、遊ぶ、あるいはさまざまな種類のレクリエーションに加わる。
- 14、清浄な発達および学習をし、発見をし、あるいは好奇心を満足させる、また利用可能な保護施設を活用する。

18

アニマルニーズの区分(Lehman と Hurnik)

資料:「畜産衛生学」

①生命維持のためのニーズ	1.最小の空間 2.一定の気圧 3.一定の環境温度 4.最低の飼料と水分 5.化学的毒性のない大気
②健康維持のためのニーズ	1.栄養要求に応じた飼料 2.特定範囲の環境温度 3.新鮮な空気 4.生理的運動ができる十分な空間
③快適性維持のためのニーズ	1.適度な環境的複合性 2.嫌悪感からの回避 3.同種動物との社会的接触

19

文献紹介 看護ケア提供の発展 — 新しい概念 (原題)Advance in the delivery of nursing care-a new concept

Andrea K Jeffery Msc Dip AVN
(Surgical), Cert Ed, RVN
University of Bristol Veterinary Nursing
Unit, Langford, Somerset, BS40 5DU, UK

20

この講義の2つの目標は、看護モデルの用い方や看護過程を私たちの業務に適用できるかを実証することである。

- ナイチンゲール(Florence Nightingale、1859)は、医療と看護は明らかに区別されるべきと考えていた。
- “医学モデル”によれば、患者とは解剖学的な部品と生理学的システムとが複雑な組み合わせられたものであるとされる。医学モデルは病気の原因として解剖学的、生理学的、生化学的機能不全を強調し、患者に対して疾病指向のアプローチをする。

21

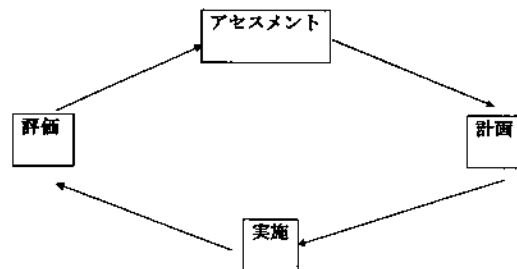
看護モデルとは

- 動物看護師は疾病指向ではなく、患者の個性や患者を取り巻く環境も踏まえた全体性を指向した看護をすべきである
 - 獣医療サービスの供給者である獣医師や、受給者であるオーナー・クライアント双方の利益のために、専門的で組織的なアプローチによって看護ケアを提供するために業務内容や職能分野を明確にさせる。
 - 専門教育に基づいた動物看護の知識を育てる。動物看護の境界線を引く必要がある。
- (M Walsh, 1997)。

22

看護過程(The nursing process)

- 看護ケアの焦点は病気から患者中心へ。看護過程は以下の4段階に分けられる。
- 動物看護師は、看護過程を実践することで、治療を必要とする状態や問題にとどまらず、患者動物全体を考える



23

アセスメント(Assessment、査定)

- 情報収集は自分自身の観察からだけでなく、クライアントや他のチームメンバーからも系統的に収集する。
- 情報は看護カルテに書き留める必要がある。集められた情報は常に再検討し、患者の現症および潜在的な看護問題、取り組みの優先順位を明確にする。
- “看護過程ではどの段階も同じように重要である。もしも、一つの段階をおろそかにすれば、次の段階の質に影響を及ぼす。アセスメントは、他のステージの基本であり、とりわけ重要である。”(C.R.Kratz,1989)。
- 患者の情報収集は非常に重要で、後の取るべき行動に影響する。
- 間違った情報⇒間違った行動
- 情報不足⇒不十分な行動

24

アセスメント Assessment(査定)

- 患者の初期アセスメントは、飼い主がペットの入院前もしくは入院中に答えた質問表から知ることができる。
- 飼い主から可能な限り動物の普段の情報を得られるようにしなければならない。
- “あなたのペットは十分に食べているか？”という質問では答えは“はい”か“いいえ”しか返ってこない。
“あなたのペットは普段何を(what)、どれくらいの量(how much)、何回食べているか(what times)？”

25

計画(Planning)

- 認められる問題をどのように解決するか
- 潜在的な問題が現実の問題となることを防ぐ
- 解決できない問題を軽減する
- 患者が解決、軽減できない問題に対処することを援助する
- 治療した問題の再発を防ぐ
- 死を避けられない場合、患者が可能な限り快適でいられるよう手助けする

26

目標の設定 (Setting goals)

- 目標は、実際の問題と潜在的な問題のどちらにも設定せねばならない。
- 短期的な目標と長期的な目標の間には区別がなければならない。
- 目標は評価を行うことができるよう、観察、測定またはテストできる結果で示されるべきである。

27

看護計画 (Nursing plan)

- 看護計画は、目標を達成するのに必要な看護介入 (the nursing intervention) で立てられる。
- 看護計画は看護師の誰もが分かるよう、具体的に書かれるべきである。

28

実施(implementation)

- implementationは看護過程の“行動”段階
- 看護師は、どのような決定が看護介入を正当化するかを明確化にすることが重要

29

評価(Evaluation)

- 看護過程の決定的な局面である。患者かクライアントの利益になるような結果が示せなかった場合、看護介入の計画、実施(implementation)が正しかったとは言いがたい。全ての看護目標が達成されたことを示すことを望んでも難しい場合、以下の質問をする必要がある。

30

質問

- 部分的には達成できたか？次の段階を決定するためには、さらに多くの情報が必要であるか？
- 問題は変化していないか？看護介入は変更すべきか、止めるべきか？
- 問題の悪化が認められるか？看護目標と看護介入を見直すべきか？
- 目標は不適當であったか？
- 看護目標には他の獣医師のチームメンバーの介入を必要とするか？
- これらの質問による再評価により、全ての過程を見直すことで、看護の体系的アプローチを再提示する。

31

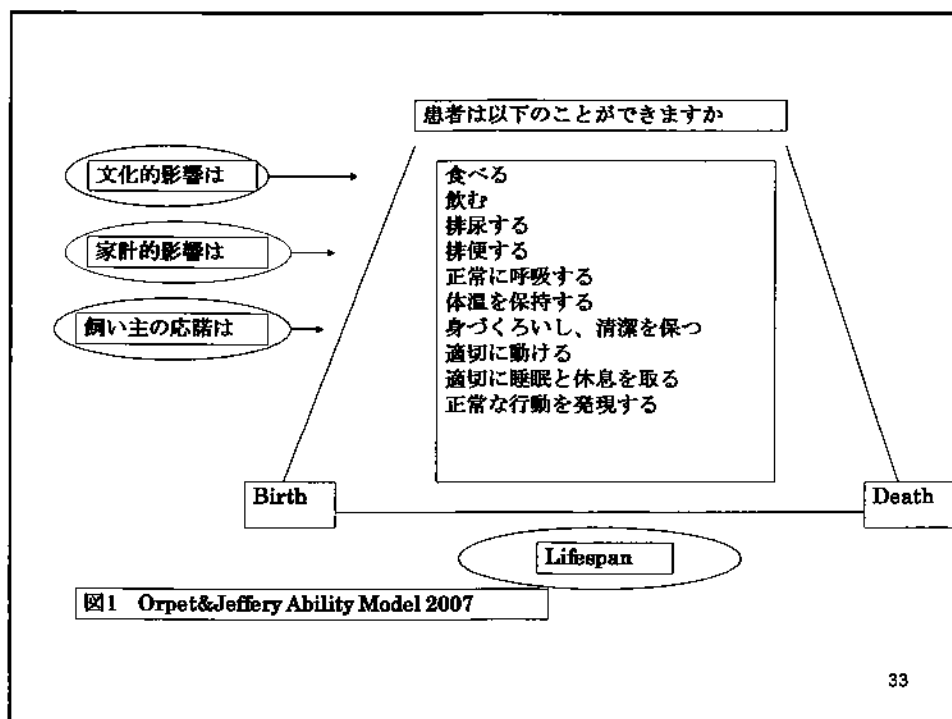
文献紹介

実践看護ケアの提供の発展 その実践例

**Advances in the delivery of practical
nursing care – Practical examples**

Hilary A Orpet Bsc,Dip AVN(surgical)

32



看護モデル Models of nursing

- ヒトの看護過程には、看護業務に適応した様々な看護モデルがある。(あくまでヒトの看護に基づいたモデル)
- 獣医療においては動物看護に焦点を当てた看護モデルが必要である。
- Orpet&Jeffery は、ヒトの看護モデルである「Roper、Logan & Tierneyのモデル」や「Oremのセルフケアモデル」を参考に、「Orpet&Jefferyのability能力モデル 2007」を作成。

Orpet & Jefferyの能力モデル ability model

- 評価段階は動物の“ability能力”を中心に構成される。
- 動物が自分で何を出来、何を出来ないのか？
- 10の“能力”は、動物が通常行動を示すだけでなく、機能し、食べる事、飲む事が出来、排泄できるという基本的な必要条件として選択された。

35

看護モデルの応用 Application of the model

- 患者のケアは、動物が飼い主に連れられ病院に来たときから始まる。
- 問診では、正確な情報を得るために必要ないくつかの重要な質問肢がある。(主観データ)
- 多くは完成した同意書や診察からカバーできるが、それだけで十分なのだろうか。
- 患者の体重、体温、心拍数、呼吸数、酸素飽和度などを測定する(バイタルサインの測定)。血液内の電解質や酵素などを測定して機能評価する。(客観データ)
- 動物看護師はこれらの正常値を把握していなければ役に立たない。

36

ランチョンセミナー要旨・資料

ランチョンセミナー「ワクチネーションの基本と応用」

株式会社インターベツト
マーケティング・マネージャー
獣医師 須永 修

【はじめに】ワクチネーションに関しては感染症の予防という目的が注目されるポイントである。しかしながら、主な対象となる幼齢動物におけるワクチンの接種は、感染症の予防もさることながら、ワクチン接種後に行われる、子犬のしつけ、社会化などの促進をする準備として重要である。社会化の遅れから問題行動に発展する場合などが見受けられ、最悪の場合は飼い主との同居も困難となり、飼育の放棄、捨て犬などの転帰も予想されることから、早期の社会化、しつけを行うことが重要と考えられる。最近では早期社会化の目的の一環としてパピーパーティなどが、動物病院内で開催されることが増えており、ワクチン接種が参加の必要条件とされている。子犬の「社会化期」は生後3週齢から12~14週齢の間であるとされる。社会化を早期に実施するためには、早期から接種できるワクチンの選択、使用が必要である。この点を踏まえ、ワクチネーションの基本とその応用について説明する。

【ワクチネーションの基本】

市販されているワクチンの種類と対応する病気は、以下の通りである。

(当社製品を例として／ 狂犬病を除く)

成分	予防できる病気
1. ジステンパーウイルス	1. 犬ジステンパーウイルス感染症
2. 犬アデノウイルス(2型)	2. 犬伝染性肝炎
(この成分1つで右の2種類の病気を予防)	3. 犬伝染性喉頭気管炎
3. 犬バラインフルエンザウイルス	4. 犬バラインフルエンザウイルス感染症
4. 犬パルボウイルス	5. 犬パルボウイルス感染症
5. レプトスピラ・カニコラ	6. 犬レプトスピラ病カニコラ型
6. レプトスピラ・イクテロヘモラジー	7. 犬レプトスピラ病イクテロヘモラジー型
7. 犬コロナウイルス	8. 犬コロナウイルス感染症

これ以外の感染症には、ケンネルコフ(ボルデテラ菌感染症)ブルセラ病(最近感染症が見られた)などがある。今般海外では、犬インフルエンザ(馬由来インフルエンザH3N8 海外で発生 新型H1N1)なども問題となっている。

ワクチン接種の時期につ

いては、生後4週令を開始時期として、3-4週間隔で計3回のワクチン接種が望まれる。

【ワクチネーションの応用】

ワクチン選択の基準は、安全性、有効性である。特に子犬への接種においては両方のバランスが取れているものが好ましいと考えられる。この点について、弊社製品「ノビバック」を例として紹介する。

【ワクチン接種推奨におけるポイント】

ワクチンの接種は、動物愛護法の観点から、また子犬の社会化の観点からも重要であることを訴求することが肝要である。この点についても紹介する。

動物看護師セミナー ワクチネーションの基本と応用

株式会社インターベツト
小動物マーケティング 須永 修

 **Intervet**
Schering-Plough Animal Health

本日の内容

- 犬猫の感染症についてーおさらい
- 犬猫用ワクチンに関する基礎知識
- ワクチンはどの時期に打つのか？
- 副作用のこと どんな犬に多いのか？ 年齢との関係？

 **Intervet**
Schering-Plough Animal Health

| 2

ワクチンとは？ - ウィキペディアより

- ワクチン（ドイツ語: Vakzin、英語: vaccine）はヒトなどの動物に接種して感染症の予防に用いる医薬品。毒性を無くしたか、あるいは弱めた病原体から作られ、弱い病原体を注入することで体内に抗体を作り、以後感染症にかかりにくくする。弱いとはいえ病原体を接種するため、まれに体調が崩れることがある。
- ワクチンを発見したのはイギリスの医学者、エドワード・ジェンナー。牛痘にかかった人間は天然痘にかからなくなる（またはかかっても症状が軽い）事を見出し、これにより天然痘ワクチンを作った。名前の由来はラテン語の「Vacca」（雌牛の意）から。その後、ルイ・パスツールが病原体の培養を通じてこれを弱毒化すれば、その接種によって免疫が作られると理論的裏付けを与え、応用の道を開いたことによって、さまざまな感染症に対するワクチンが作られるようになった。

ワクチンって？

- ワクチンとは：
細菌やウイルスなどの病原体（弱毒化もしくは、死んだもの）を、わざと体内に入れて抗体を作らせることによって、その病原体による疾病を防御するもの

注射



経口



経鼻



ワクチンはなぜ必要なのか

- 致死率の高い犬パルボウィルス感染症や、ジステンパーの感染を防げます
- 事前の接種によって、感染の可能性が高い状況下でも、感染を防げます（他の犬との接触、汚染地域への旅行など）
- 抵抗力の弱い個体（幼若、高齢など）を感染から守ることができます



犬の感染症

- 犬パルボウィルス病
- 犬ジステンパー
- 犬伝染性肝炎（非常に少なくなっている）
- 犬伝染性咽頭気管支炎
- 犬パラインフルエンザ
- 狂犬病（法定ワクチン接種）
- レプトスピラ病
- 犬コロナウィルス病
- ケンネルコフ（ボルデテラ菌感染症）
- ブルセラ病（最近感染症が見られた）
- 犬インフルエンザ（馬由来インフルエンザ H3N8海外で発生 新型 H1N1）

猫の主な感染症

- 汎白血球減少症
- カリシウィルス
- ヘルペスウィルス
- FeLV
- 狂犬病
- クラミジア症
- ボルデテラ ブロンキセプティカ
- 伝染性腹膜炎
- FIV

犬ジステンパーウイルス (Canine distemper virus : CDV) の感染により起こる病気

よくある説明

犬ジステンパーウイルスの感染によるこの病気にかかると高い熱、目ヤニ、鼻水、クシャミが出て、元気・食欲がなくなります。また、嘔吐や下痢をしたり、ふるえやケイレンなどの神経症状を起こす場合もあります。特に子犬では、死亡率も高い伝染病です。



感染経路：鼻汁・唾液・尿→経口・経鼻

犬以外の動物にも感染する

食肉目

<高い感受性>

犬科	犬、オオカミ、キツネ、 コヨーテ、ジャッカル、タヌキ、 ディンゴ、リカオン
イタチ科	イタチ、スカンク、テン、 フェレット、ミンク
アライグマ科	アライグマ、キンカジュ、 レッサーパンダ、パンダ

<低い感受性>

ハイエナ科	ハイエナ
クマ科	クマ
ジャコウネコ科	ジャコウネコ、リンサン、 ホッパ、マンダース
猫科	ライオン、トラ、ヒョウ、 ジャガー、オセロット

ヒレアシ目

アザラシ科	シベリアアザラシ
-------	----------

犬パルボウイルス（Canine parvovirus：CPV）の感染により起こる病気

よくある説明

食欲がなくなり、衰弱して発熱や嘔吐、時には血液の混じった激しい下痢がみられます（血便）。重症になると脱水が進み、短い経過で死亡する例がみられます。伝染力が強く、非常に死亡率が高い病気です。

強いウィルス→汚染場所の清浄化が困難



感染経路：糞便→経口・経鼻

犬コロナウイルス（Canine coronavirus：CCV）の感染により起こる病気

よくある説明

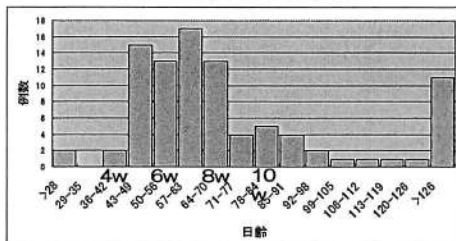
水様性の下痢や嘔吐を引き起こします。潜伏期感は、1～2日で、胃腸炎症状の後、殆どは回復します。感染した犬の便や尿に放出され経口感染します。パルボウイルスとの混合感染により、より重度となります。



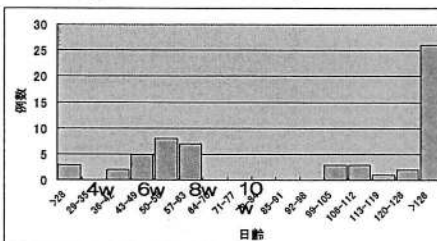
犬パルボウイルス/犬ジステンパーウイルスの野外における汚染状況

2002～2005年に実施した病性鑑定により各ウイルス感染症を確認した症例のうち日齢の明確なものについて集計（インターペット中央研究所調査）

日齢別犬パルボウイルス感染犬数



日齢別犬ジステンパーウイルス感染犬数



犬パルボウイルスは特に若齢犬での発症が多く認められる。

犬の病気とワクチンで予防できる病気

成分	予防できる病気
1. ジステンパーウイルス	1. 犬ジステンパーウイルス感染症
2. 犬アデノウイルス（2型） （この成分1つで右の2種類の病気を予防します。）	2. 犬伝染性肝炎 3. 犬伝染性喉頭気管炎
3. 犬パラインフルエンザウイルス	4. 犬パラインフルエンザウイルス感染症
4. 犬パルボウイルス	5. 犬パルボウイルス感染症
5. レプトスピラ・カニコーラ	6. 犬レプトスピラ病カニコーラ型
6. レプトスピラ・イクテロヘモラジー	7. 犬レプトスピラ病イクテロヘモラジー型
7. 犬コロナウイルス	8. 犬コロナウイルス感染症

感染症予防のキーポイント

ワクチンのある病気

- ワクチンをしっかり接種する。
- 同居している犬の感染状況を検査などでチェックする
- 所有している犬の抗体検査などを行い健康状態を確認する
- 生まれたばかりの子犬の管理に注意する
- 飼育環境下で病原体が常にどこかにいる可能性を前提として、衛生管理を徹底して行う

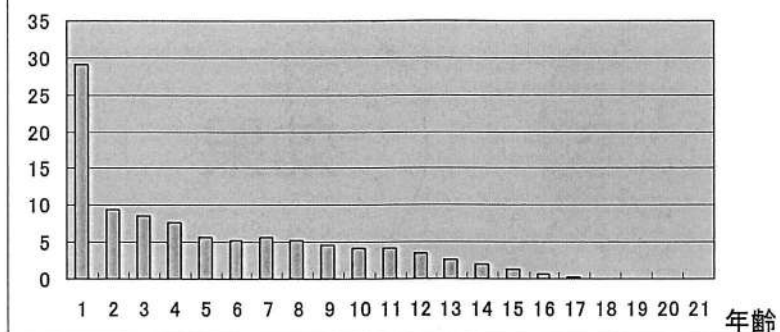
ワクチンの無い病気

- 衛生管理の徹底
- 感染症の履歴を持つ犬については、検査などを行いほかの犬に感染させないように注意する

いずれの場合も、**敵は見えないウイルス、細菌**であり、日々の衛生管理、健康チェックが重要です！

30%の来院は子犬 - 出典：多摩獣医臨床研究会データ

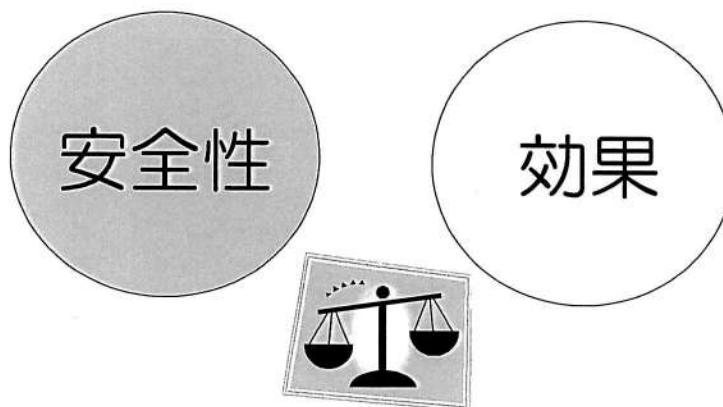
2005年度における動物病院来院患者の年齢分布 (%)



子犬の社会化の重要性

- 氏か育ちか？
子犬の性格は生まれ（どんな親から生まれたか）よりもその後の育て方に大きく影響される
- パピーパーティへの参加への必要条件 ワクチン接種が行われていること
- 生後12週頃までに社会化をさせることが重要
- 早期社会化には、感染症に抵抗できる体になっていることが必要
- 社会化のためには、いわゆる公園デビュー・パピーパーティなどへの参加が考えられる
- 成長後の問題行動の予防にも重要

子犬に適したワクチンに求められる 2大要素とは？



安全性

ノビバックDHPPiの4週齢犬における安全性

群	接種トース	頭数	観察項目	1回目接種	2回目接種	3回目接種
通常量	1	5	臨床観察	0/5	0/5	0/5 ¹⁾
			体温	0/5	0/5	0/5
			接種局所	0/5	0/5	0/5
			体重	0/5	0/5	0/5
			血液所見 赤血球数	0/5	0/5	0/5
			血液所見 白血球数	0/5	0/5	0/5
高用量	100	5	臨床観察	0/5	0/5	0/5
			体温	0/5	0/5	0/5
			接種局所	0/5	0/5	0/5
			体重	0/5	0/5	0/5
			血液所見 赤血球数	0/5	0/5	0/5
			血液所見 白血球数	0/5	0/5	0/5
対照	-	5	臨床観察	0/5	0/5	0/5
			体温	0/5	0/5	0/5
			接種局所	0/5	0/5	0/5
			体重	0/5	0/5	0/5
			血液所見 赤血球数	0/5	0/5	0/5
			血液所見 白血球数	0/5	0/5	0/5

1) 異常頭数 / 供試頭数

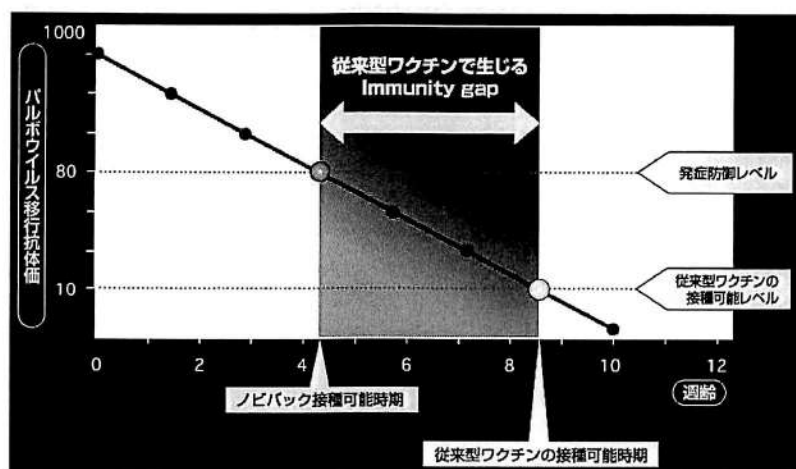
有効性 (効果)

ワクチンブレイク

- ワクチンブレイク（英:vaccine break）とは種々の原因によりワクチン接種を行ったにもかかわらず免疫が十分に賦活されず、通常のワクチンの効果が発揮されないこと。原因として、移行抗体による能動免疫誘導の阻害、強度のストレス、免疫抑制状態、体温異常、ホルモンバランスの異常などが挙げられる。

ウィキペディアより 引用

犬パルボウイルス感染症に対する 移行抗体とワクチン接種の模式図



Intervet
Schering-Plough Animal Health

21

ノビバックの有効性

- 犬パルボウイルスの発症防御レベル(80倍)の移行抗体があっても乗り越える
- 犬ジステンバーウイルスの発症防御レベル(20倍)の移行抗体があっても乗り越える

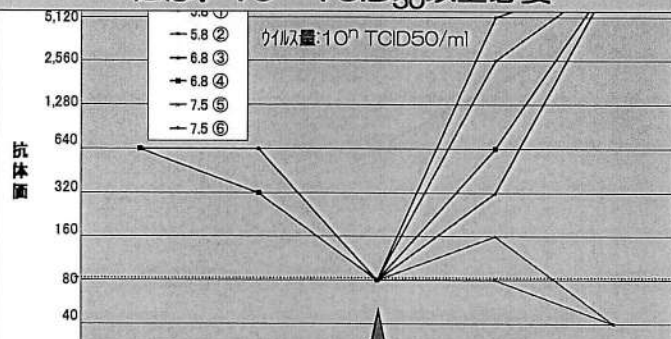
野外感染のあった親犬、ワクチンの接種が行き届いた親犬由来の子犬には高い移行抗体が賦与される—ワクチンブレイクの危険性

Intervet
Schering-Plough Animal Health

22

犬パルボウイルス移行抗体保有犬における
接種ウイルス量と抗体応答

犬パルボウイルスの移行抗体80倍を乗り越える
には、 $10^{6.8}\text{TCID}_{50}$ 以上必要



ノビバックの犬パルボウイルスのタイターは、
 $10^{7.0}\text{TCID}_{50}$ 以上

ノビバックワクチンタイター設定（基準値）

犬パルボウイルス $10^{7.0}\text{TCID}_{50}$ 以上

犬ジステンバーウイルス $10^{4.0}\text{TCID}_{50}$ 以上

注) Puppy DPIは犬ジステンバーウイルス $10^{5.0}\text{TCID}_{50}$ 以上

犬パルボウイルスおよび犬ジステンバーウイルス

に対する移行抗体価が発症防御レベルにあっても

抗体応答が期待できる

推奨ワクチンプログラム

- 生後 4週令 1回目の接種
お勧め 2種混合 5種混合など多種でないもの
(子犬への負担、感染のリスクを考慮 ジステンバーパルボ必ず)
- 1回目接種後 3週から4週目 2回目の接種
お勧め 5種または多価ワクチン(レプトスピラ入りのもの)
(必要に応じて選択する)
- 2回目接種後 3週から4週目 3回目の接種
お勧め 2回目と同じものを繰り返す
(レプトは2回接種が不可欠なので、必ず繰り返す)
- その後 毎年 1回の接種を行う(最後と同じもの)

パピーパーティについて

子犬の社会化とワクチン接種には重要な関係あり

有効な免疫をより早く
付けることで、安心して
社会化プログラムを
開始することが可能



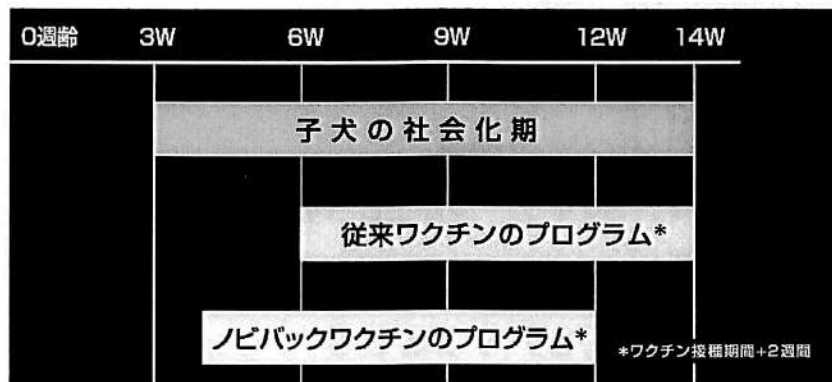
子犬の発達の段階

社会化期
+
若齢期

3～14週齢

- ◆感覚機能・運動器官がさらに発達
- ◆さまざまな社会的行動の基礎を学習する
 - ◇他の子犬とじゃれる
 - ◇遊びを通して社会的に容認される行為・そうでない行為を学ぶ⇒遊びを高度化させる
- ◆特に3～12週齢が、社会的関係の形成に非常に重要な時期

子犬の社会化期とワクチンプログラム



まず、パピーパーティーとは？

- ・ 動物病院などで、子犬を安全に他の子犬や人間に会わせることで、将来の人見知りや恐怖心を予防します。
- ・ 感染症のリスクの大きい時期なので、子犬に適したワクチンを上手に組み合わせて行うことが必要です。
- ・ 子犬、オーナー、動物病院の絆を作ります。



動物病院で行うパピーパーティーのメリット

- ・病気の予防率アップ
- ・病気の早期発見・治療
- ・診察や治療が容易となる
- ・来院頻度アップ
- ・オーナーと子犬の絆の構築
- ・子犬とオーナーのマナーの向上（社会マナー教育を行う）
- ・病院とオーナーの信頼関係－つながりアップ
- ・スタッフのやる気をアップさせる

子犬の社会化

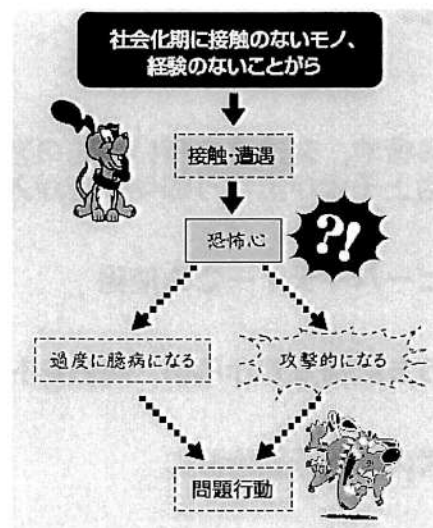
犬の発達行動学

- 犬の行動・性格は「氏か育ちか？」
- 欧米での研究成果（1945年～）

- 犬の行動や性格は遺伝的要因だけでは決定されない
- 子犬の発達段階の中に、特に環境要因に感化されやすい特別な時期がある
- この時期に受けた心理的ダメージは永続する
- この時期は「社会化期」と呼ばれ、3～12週齢が最も大切である

子犬の社会化

「社会化」と「問題行動」



ノビバックのパピーパーティーセット

- ・パピーパーティー用 音のCD:1枚
- ・3つのプレゼント 説明文書1枚、見本(おもちゃ、歯ブラシ)各1つ
- ・オーナーリーフ:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー 参加申込書:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー パピーパーティー参加証:10部
- ・1週間社会化プログラム:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー パピーパーティー質問カード:1部

パピーパーティーの
スターターキットです！



音のCD

- ・ 雷の音や、交通量の多い道路の音、玄関のベルの音など、生活上子犬が出会う様々な音が入っています。
- ・ パピーパーティーでの使用
- ・ おうちに帰ってからの、毎日のトレーニングに
- ・ 成犬の問題行動治療に

3つのプレゼント

- ・ 小さな容器に入ったおやつ
オーナー以外の人からもらうのがルール。
人見知しりのない子に育てる
- ・ 歯フラシ
おうちでのハンドリングの練習に
- ・ おもちゃ
子犬とオーナーのコミュニケーションに。
遊んでくれる人＝いちばん好きな人

ノビバックのバビーパーティーセット

- ・バビーパーティー用 音のCD:1枚
- ・3つのプレゼント 説明文書1枚、見本(おもちゃ、歯ブラシ)各1つ
- ・オーナーリーフ:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー 参加申込書:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー バビーパーティー参加証:10部
- ・1週間社会化プログラム:10部
- ・子犬のわくわく社会化デビュー バビーパーティー質問カード:1部

**バビーパーティーの
スターターキットです！**



アンケートのお願い

- ・ワクチン接種は初年度(子犬)接種から年々接種率が低くなりますが、何が原因だと思いますか？
- ・ワクチンの接種を勧めるとペットオーナーさんが接種をしがない理由は何でしょうか？
- ・接種を勧める際にオーナーさんにお話した場合に接種を理解いただいた良い事例がありますか？

一般演題口頭発表 要旨

野生ニホンザルの寄生虫調査

○牧野麻希子（天神川どうぶつ病院）

1.はじめに

霊長類の動物はヒトと動物分類学的に近縁なため、サルの感染症の多くは人獣共通感染症として問題視されている。そこで、ニホンザルの寄生虫感染に焦点をあて、山梨県大月市と宮城県金華山の2地域に生息する野生ニホンザル群の寄生虫感染の調査を行った。

2.材料と方法

検査対象…比較的人工物の多い山梨県大月市葛野川周辺、比較的自然の多い宮城県石巻市金華山に生息している野生ニホンザルの放置されていた糞便（それぞれの地域で各16検体）を使用

検査方法…直接塗抹法、飽和食塩液浮遊法、飽和ショ糖液浮遊法、MGL法の糞便検査法

3.結果

大月市…全16検体中10検体で寄生虫が発見された。

（鞭虫卵、線虫卵、毛様線虫卵？、吸虫卵？、腸結節虫卵？、鉤虫卵？）

金華山…全16検体中3検体で寄生虫が発見された。

（鞭虫卵）

4.まとめ

大月市では75%のサルが寄生虫を保持していたが、金華山では18,75%と地域によって差が出た。寄生虫卵の種類は、大月では成虫や寄生虫卵の可能性のあるものも含め6種あり、原虫やシストも検出されたのに対し、金華山では寄生虫卵は1種類のみが検出された。

5.考察

大月のニホンザルに比べ金華山の寄生虫蠕虫相が乏しい理由は、各地域の気温の差・環境・食性が影響しているものと考えられた。

参考・引用文献

- 小動物寄生虫鑑別マニュアル【インターズー】
- 図説 獣医寄生虫学【メディカルグローブ】

託児ルーム設置の経緯

関西動物看護教育研究会（K4）

高橋佳代子、阿部令子、井田竜馬、崎山法子

玉井まさよ、比嘉恵子、山内かおり

【はじめに】

育児と仕事の両立は簡単なものではなく、それは獣医療の分野でも例外ではないと考える。なぜなら、仕事には日々の自己研鑽と周囲の育児に対する多角的サポートが必要不可欠だからである。

少子化が危惧されている今日において、仕事を持つ親や子供を望む夫婦に対するサポートが充実していないと、仕事を継続させるために子供を持つことすら断念するケースもあるのではと懸念される。動物看護職の現状は、必要とするだけの十分なサポートが受けられず結婚・妊娠・出産を機に離職するケースも多く、特に女性にとって、そのような状況で仕事を続けることは、本人のかなりの努力と、周囲の十分な理解と協力を要する。

筆者らは、育児を行いながら仕事を継続させる事が厳しい現実であることを当事者として実感している。

このような状況を踏まえ、現職および社会復帰を希望する離職・休職者の支援の一環として当研究会主催のセミナーに託児ルームを併設した。動物看護職向けセミナーにおいて、知る限り初の試みとなった託児ルームがどのような経緯で実現出来たのかを明らかにしたい。

【方法と手順】

平成21年09月19日より、託児ルーム設置にあたり他学会の前例等を参考に、保育士の確保、安全面・保険、財政面、託児ルームの確保、子供の健康管理、準備物の確認などの検討・準備を開始し、平成21年12月05日実施に至った。

【結果と今後の課題】

設置準備から実施に至るまで、いくつか煩雑な手続きを要するものもあったが、予想していたよりも順調に運営できた。今回、託児ルームを利用したのは、結果として、研究会会員の子供達のみにとどまったこともあり、さしたる問題は起こらなかった。

今後の課題として、利用料金設定、運営手順の整理、告知方法、セミナー内容の改善などが挙げられた。

【終わりに】

多くの現役動物看護職者が、動物看護はやりがいのある仕事だとしているが、産前・産後の支援の有無や、育児に対する理解を含めた雇用体制など簡単に解決できないさまざまな問題によって退職を選択することが多い。このような現状では、生涯の仕事となりえるのは難しいと考える。

今後、様々な支援の充実と共に、セミナー併設の託児ルームが特別なことではなくなり、育児中であっても、情熱を絶やすことなく学習の継続が可能となれば、動物看護職を生涯の仕事とすることも可能になるのではないかと期待している。また、経験豊富な動物看護者は、飼い主や患者動物に対し質の良い獣医療の提供を行え、円滑な組織運営や、各動物医療施設においても、大きな役割を担っており、その貢献は必要不可欠な存在ではないかと考える。

この活動を通じ、改めて動物看護職の置かれている環境・立場を考えることが出来た。この道を先に行く者の務めとして、動物看護職に就いた後進が将来のある職業であると希望を抱ける一端を担えたら幸いである。

【参考資料・文献】

- 1) 保育室設置ワーキンググループ (2002. 7)
「第24回日本分子生物学会年会」～保育室・親子休憩室設置に関する報告書～
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/mbsj/meetings/babysitting/children.html>
- 2) 白井千晶「学会託児の現状」
<http://homepage2.nifty.com/~shirai/pdf/gakkai.pdf>
- 3) インターズー (2004. 4) 「animal specialist」
『創刊15周年記念企画第二弾 教えて皆はどんな思いで働いているの?』
- 4) 尾崎 裕子 (2002)「動物看護学 総論」『動物病院の動向と動物看護師白書』p40～45.
日本動物看護学会

犬の体脂肪率と血液生化学検査の関係

王寺動物病院分院 Ron 動物病院 松井桃子

<はじめに>

近年のペットブームにより犬を取り巻く生活環境が変化し、肥満のペットが増加傾向にある。しかし、犬において肥満度を判定することは容易ではない。肥満度判定によく用いられるボディコンディションスコア（以下 BCS）も判定者の主観に頼る方法のため誤差が生じやすい。そこで、より客観的に犬の肥満度を判定する方法について考察した。

<目的>

主観的指標である BCS と客観的指標である体脂肪率・血液生化学検査との関係、また食事のエネルギー量と肥満との関係を考察する。

<研究方法>

2008 年 10 月～12 月帝京科学大学アニマルサイエンス学科の学生が飼育する犬 19 頭を対象に、BCS の判定、体脂肪率測定、血液生化学検査を行う。また食事の摂取エネルギー量を算出し、肥満との関連性を見る。

<結果・考察>

BCS と体脂肪率において正の相関が見られた。BCS は人の主観に頼る判定方法のため信頼性が低いと考えていたが、BCS でも体脂肪率と同程度の肥満度判定を行うことができると考えられる。

血液生化学検査では、総コレステロール、中性脂肪で体脂肪率との正の相関が見られた。これらの値と体脂肪率との関係が明らかとなれば、より客観的に肥満度を判定できる可能性を示唆している。引き続き調査対象を増やし追求する必要があると考える。

摂取エネルギー量と肥満の関連性を評価する際、各個体の必要エネルギー量の計算が必要となる。しかし、ライフステージや運動量によって必要エネルギー量が個体毎に異なるにも関わらず、その指標が現段階では存在しない。運動量などによる個体ごとのエネルギー量の算出方法について、さらなる改良が必要である。

<参考文献>

- 1) 武藤政美 堀口恵子 桜井富士朗 「マイクロソフト・エクセルを用いたイヌの栄養評価表の開発」 ペット栄養会誌, 3 (2) 117-123 項
- 2) 石田卓夫 「愛犬のウェルネスケアと肥満コントロールー犬の体脂肪率測定調査：続報ー」 JBVP (日本臨床獣医学フォーラム) 2007 レポート 2007 年
- 3) 桜井富士朗監修 島田真美 大木富雄著 『ペットビジネス プロ育成講座 vol.2 フードアドバイザー』 株式会社インターズー 2007 年
- 4) 本好茂ー日本語版監修 Vincent Biourge 他 『Encyclopedia Of Canine Clinical Nutritionー犬の臨床栄養ー』 ROYAL CANIN 2008 年
- 5) 株式会社花王 Healthlab 上手に測定するためにーヘルスラボ犬用体脂肪計測定マニュアルー
- 6) 香川芳子 『五訂増補食品成分表 (2008)』 女子栄養大学出版部 2008 年

終末期看護における倫理的ジレンマ～舌癌患者の長期入院を通して～

王寺動物病院 動物看護師 山崎 州子

はじめに

動物医療は伴侶動物を中心として展開され、看護は伴侶動物を取り巻く人々により実践されるが治療の決定権と伴侶動物のQOLは飼い主に委ねられている。終末期看護の際に、飼い主・獣医師・動物看護師間に生じた倫理的ジレンマを明らかにし、今後の終末期看護の質の向上につなげたい。

症例紹介

ラブラドルレトリバー、雄（未去勢）、16歳、穏やかで人好きな性格であり、飼い主が家族で経営する会社で飼われていた。既往歴：直腸腫瘍、拡張型心筋症、現病歴：舌の扁平上皮癌、下痢

伴侶動物を取り巻く人々の心理

<入院当初>

飼い主は、在宅看護より入院看護の方が最善であると考えていた。自力歩行と自力採食が不可の間は、入院看護を希望した。また、辛い姿は見たくないが出来るだけのことをして欲しいと要望しており、急変時は心肺蘇生の実施を希望した。

獣医師は、飼い主の意向に沿い入院にて緩和治療を行う事とした。

<入院中>

飼い主とのやり取りは、獣医師が代表となり主に電話にて行なっていた。

入院中に飼い主は面会に訪れず、積極的に動物に関与する様子がみられないように感じた。そのため、担当動物看護師は、飼い主とのコミュニケーションを取ろうと模索するも難しかった。口元へ食餌を持っていく事以外は日常生活に支障がない為、一部のスタッフは、在宅看護が最良ではないかと考えた。（事象1）

担当動物看護師は、飼い主が在宅看護しやすいよう病院側がサポート体制を整える事で、動物が在宅看護を受けられるのではないかと考え、獣医師に提案した。獣医師は、在宅看護における飼い主の心理的・肉体的負担を懸念しつつ飼い主へ提案を行った。スタッフの中には「飼い主の入院看護が最善であるという意向に沿うことが良いのではないか」「飼い主の諸事情を踏まえ在宅看護の受け入れは難しい」などの意見があった。飼い主は、獣医師からの提案を受けるも、入院当初の考えに変わりはなく、継続入院を希望した。（事象2）

<在宅看護提案後の継続入院中>

担当動物看護師は、飼い主に面会に来てもらうよう提案した。飼い主は、病院側からの要望には迅速に対応した。面会時は、動物を眺めており自ら動物に触れることは無かった。スタッフとの会話中に涙を流すこともあった。（事象3）

担当動物看護師は、終末期の動物のQOLの向上を考え一時帰宅を提案した。獣医師は、飼い主とのやりとりや面会時の印象などから実施には消極的だった。スタッフ間の話し合いでは「在宅看護を受け入れないことが愛情がないということではない」「長期間の入院費用を支払うという

金銭的な支援も動物への愛情ではないか」「環境の変化は動物の身体に影響するのではないか」「飼い主の心理的負担ではないか」などの意見が出た。(事象4)

飼い主に一時帰宅を提案すると「あの子も歩き慣れた道を散歩したいのではないかと思います」と涙を浮かべながら話した。家族と話し合った結果、一時帰宅の提案に対し賛同した。スタッフの協力もあり一時帰宅を実施。飼い主と動物は共に歩き慣れた道を散歩でき、嬉しそうな様子だった。飼い主は、有意義な時間を過ごせたと話し、涙を浮かべる家族もいた。(事象5)

考察

事象1では、飼い主とスタッフの考えにズレが生じた。事象2で、担当動物看護師は飼い主に対し不安と不信を募らせていった。また飼い主と話す機会がほとんど無く、飼い主の印象に対して先入観を持っていた。事象3・事象4・事象5では、飼い主の動物への愛情を表現する方法は1つではないと知り、何事も先入観を持ってはいけなと感じ、看護の際は飼い主の真の想いを理解する努力が必要であると分かった。

この動物の終末期看護について動物看護師・獣医師の双方から様々な意見が出た。動物を看護する際、そこに関わるすべての者にはそれぞれの想いや考え方があり、意見は様々である。自身の死生観に対し、他者の価値観がぶつかることで倫理的ジレンマが生じ、このジレンマは看護に関わる人数が多いほどより多く生じると考える。

終末期における緩和治療の際、根治が不可能であるがために、なおいっそう倫理的ジレンマが生じやすくなると言えるだろう。しかし、たとえ自身の考えが他者の意見と相違していても、様々な提案や話し合いを繰り返し、違った視点からの見解を知ることによって、よりよい看護につながり、なんらかの成果を上げることができる。本症例においては、在宅看護を望まない飼い主に、動物のQOLの向上を目指し、担当者を中心としたスタッフ全員が自身の意見を主張し、諦めず話し合ったことで、一時帰宅という手段を飼い主に提案し、実施できたことがその成果と言えるだろう。そして、スタッフと飼い主の動物を想う気持ちが重なったからこそ、飼い主は涙を流したのではないだろうか。これも成果の一つと考えている。

まとめ

看護は知と技と心をもって行うものである¹⁾。メイヤロフは「誰かをケアするためには、私は多くのことを知る必要がある。そして、その人の要求にどのようにこたえるのか、私自身の力と限界がどのくらいなのかを私は知らねばならない。」²⁾と述べている。よりよい看護を行なうためには常に何が最善かを考え続ける必要がある。しかし、それぞれが考える最善の方法が必ずしも実施できるとは限らない。その限界との間にもジレンマは生じる。その際、飼い主も含めた医療チームが話しあう事で実践できる看護の幅が広がる。こうした努力と積み重ねにより看護の質は向上するのである。

引用参考文献

1) 小西恵美子：看護倫理 南江堂

2) メイヤロフM／田村真・向野宣之訳：ケアの本質 p 34・p 35

当院における院内死についての検討

北摂夜間救急動物病院 西 景子

【背景】

筆者は、2009年2月「北摂夜間救急動物病院における動物看護師の役割」という発表を行い、その中で院内死に対する看護の重要性に気付いた。その後1年筆者は、患者動物を亡くした飼い主に少しでも寄り添うことができるよう継続して研究を今日まで行っている。その中で発表以降、筆者だけではなく、当院スタッフも安楽死を含む院内死の対応に少しずつ変化が現れてきたように感じた。変化が生じた背景には院内でも発表を行い、筆者の思いを伝えたことで、スタッフそれぞれが患者動物と飼い主の対応について個々に意識しはじめたことがあるのではないかと考えこの1年の変化について改めてスタッフの意識を知るために調査を行った。

【方法】

正社員（獣医師2名・動物看護師8名）を対象に質問紙法にて調査を行い、解答は自由記述式とした。項目は以下の通りである。

- ① この1年で飼い主・患者対応に変化や改善はありましたか？
- ② 現在の当院における院内死への対応は充分なものですか？
- ③ 当院において院内死へのケアが充分でないと思う方、改善できない原因は何だと考えますか？
- ④ 当院における院内死の対応を更に良いものにする為に組織として行うべきことは何だと考えますか？
- ⑤ 救急診療において院内死への対応はどうあるべきだと思いますか？

【結果と今後の課題】

この1年での院内死への配慮について変化は感じてないという回答が多かった。また②では、充分3名、不十分2名、どちらともいえないが5名と回答が分かれ、不十分な理由として、いずれも1件あたりの診療時間が限られる、人員不足、ほとんどが初診の為、信頼関係が築きにくいなどの当院特有の問題点があがった。④については、患者動物と飼い主へのケアに関するスタッフ教育や、意識改革などがあつた。⑤は、患者動物を亡くした飼い主が「死」を受け入れられるようインフォームドを徹底する、精神面へのサポートを行うなどの意見があつた。

院内死への対応が改善されていることを実感していない解答が多かったが、改善できない要因はいずれも具体的なものが多く、問題意識が強いことが分かった。それと同時に日々の診療で問題点への対策が後回しになっていることも浮き彫りとなった。各々に安楽死・院内死に対する思いは強くあり問題意識も明確であつたことから、それらを元に意見交換を行い改善策を検討し、日々の診療に反映させることは難しくないと考えた。

【終わりに】 飼い主が愛する患者動物が、安らかな最後を迎えられるよう動物看護師として出来る限りのケアをしようと努力してきたが、筆者のみがそれを行うことは、人員不足のなか、他の業務が手薄になり、周囲のスタッフに負担をかけることになる。ただひとりよがりでのケアを行

っていても、飼い主や患者動物に満足した看護を提供することは不可能であり、またスタッフによって対応が異なることは組織として充分とはいえない。日々の診療以上に、院内死への対応はチームワークとして行うことが重要であると感じた。来院された飼い主や患者動物には、たとえ院内死であっても最後には「来院してよかった」と思われる看護を目指したい。

【参考・引用文献】

田村浩美：大学病院における動物看護師の役割、アニマル・ナーシング Vol13-1:p14-17(2008)

三井ひろみ 著：動物を看取るということ、晶文社

入院看護記録の使用経験に関する考察
Orpet&Jeffery 式看護記録を用いて

大阪府立大学附属 獣医臨床センター

○加藤麻友香 楠本貴恵 白木文恵 島村俊介

秋吉秀保 大橋文人 久保喜平

入院動物の管理とは、動物看護師の業務内容の一つであり、給餌、散歩、患畜の状態の把握、処置の補助および投薬などが挙げられる。そして、これらの処置や患畜の様子を入院看護記録に記入することは獣医師および動物看護師間の共通認識を持つことができる手段であり、患畜の状態や処置の内容を確認するための情報の収集源であることから有効とされている。この点、入院看護記録の記入においても表現や方法が統一されていることが望ましいと言えるが、経験の差や動物看護師によって、様々であることが多い。そこで今回、日本動物看護学会で紹介された「実践看護ケアの提供の発展」(桜井訳)の実践例「Orpet&Jeffery 式入院看護記録」を当院で試行し、その入院看護記録としての汎用性について検討してみた。

2009 年 12 月 8 日から 2010 年 1 月 22 日までに当センターを受診された患者で入院に至った 5 例を対象とし、3 名の動物看護師がそれぞれ 5 例の入院看護記録を実施し Orpet&Jeffery 式入院看護記録を用いて定法に従い評価と記入を行った。また、Orpet&Jeffery 式入院看護記録において動物の状態評価の基準となる普段の様子については、飼い主向けアンケートを特別に作成し、収集した。本発表では入院看護記録の評価で使用する、あらかじめ定められている 10 の各項目について、問題点や実用性を検討した結果について述べる。

日本動物看護学会 関西地区 第3回例会 実行組織

関西地区例会代表幹事 崎山法子（本会理事・王寺動物部病院・動物看護師）
関西地区例会幹事 阿部令子（本会理事・アニマルサポートオフィスミーチャ代表・動物看護師）
井田竜馬（本会理事・井田行政書士事務所代表・行政書士）

実行委員 桜井富士朗（本会理事長・帝京科学大学アニマルサイエンス学科 教授）
尾花礼子（王寺動物病院・動物看護師）
川畑 翔（王寺動物部病院・動物看護師）
並木まどか（こおりやま動物病院・動物看護師）
久保怜可（アサヒペットクリニック本院・動物看護師）
松井桃子（Ron動物病院・動物看護師）
佐藤順子（みなせ動物病院・動物看護師）
山内かおり（OFFICE AniPro 代表・動物看護師）
西 景子（北摂夜間動物病院・動物看護師）
牧野麻希子（天神川どうぶつ病院・動物看護師）
萩原とみ子（日本動物看護学会事務局）
庄司さやか（日本動物看護学会事務局）

（順不同・敬称略）

日本動物看護学会 関西地区 第3回例会 テキスト

2010年2月21日 発行

発行元 日本動物看護学会

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23 アクセス御茶ノ水 2F

TEL. 03-5298-2850 FAX. 03-5298-2851

E-mail info@jsan.gr.jp ホームページ <http://www.jsan.gr.jp>

無断で複写・複製・転載することを禁じます。
